

令和8年3月

伊東市議会 3月定例会

予算大綱質疑要旨

伊東市議会

予 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 伊 東 未 来 大 川 勝 弘 君
(3月3日(火) 10時～11時50分)
- 2 正 風 ク ラ ブ 佐 藤 周 君
(3月3日(火) 13時～14時30分)
- 3 政 和 会 犬 飼 こ の り 君
(3月3日(火) 14時40分～15時40分)
- 4 自 由 民 主 伊 東 井 戸 清 司 君
(3月4日(水) 10時～11時)
- 5 公 明 党 長 沢 正 君
(3月4日(水) 11時10分～12時10分)
- 6 会派に所属していない 片 桐 基 至 君
(3月4日(水) 13時10分～13時35分)
- 7 会派に所属していない 重 岡 秀 子 君
(3月4日(水) 13時35分～14時)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊東未来 大 川 勝 弘

令和8年度伊東市一般会計予算案に関し、以下5点伺う。

- 1 令和8年度は、対前年度比で7億5,000万円増額の326億円の予算規模とし、市制施行以来、最大規模の予算額となっている。歳入の根幹である市税が114億7,425万6,000円と対前年度比3億2,815万1,000円の増額にとどまる中、最大規模の予算額となった要因について伺う。

- 2 令和8年度の自主財源比率が対前年度比0.2ポイント減の52.3%となった要因及び今後の推移について伺う。また、先日の大雪による水道被害等を含め、災害が大規模化する傾向にある中、財政調整基金残高が17億1,740万1,000円となったことから、適正規模に対する考え方及び今後の見通しを伺う。

- 3 新図書館建設事業は、現状は白紙の状態となっているが、図書館への市民の関心は高いことから、図書館協議会事業において設置する図書館協議会のスケジュール及びメンバー構成について伺うとともに、図書館サービスの向上についてどのように考えているか伺う。

- 4 以下の事業において、その事業内容及び今後の見通しを伺う。
 - (1) 第2款総務費
 - ア ふるさと伊東応援寄附金返礼事業

 - イ 文化ホール建設調査事業

ウ DX関連事業

エ 庁内外LAN設備管理運用事業

オ おくやみ窓口事業

(2) 第4款衛生費

ア ごみ集積所整備費補助金

イ 焼却炉機器整備事業

ウ 省エネ型家電製品購入支援補助金

(3) 第7款観光商工費

ア 伊東温泉魅力創出事業費補助金

イ さくらの里ドッグラン整備事業

ウ 大室山観光トイレ整備事業

エ 按針祭執行事業負担金

オ 伊東市中心市街地活性化事業補助金

(4) 第8款土木費

ア 伊東駅周辺地区整備事業

イ 公園施設予約システム導入事業

ウ 小室山公園再整備基本構想策定事業

エ 公園建設事業

(5) 第10款教育費

ア 中学校部活動補助金

イ 市民運動場ベンチ屋根設置工事請負費

ウ 学校開放事業

エ 学校給食費無償化事業

5 入湯税は、令和7年10月1日から超過課税が始まったことにより、令和8年度の歳入が対前年度比で34.3%増の6億292万8,000円となっているが、環境衛生施設の整備や消防施設の整備等に充てられる目的税であることから、入湯税を充当する事業について、どのように考え決定したのか伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

正風クラブ 佐 藤 周

- 1 令和8年度予算案については「変えるべき所は変え、市民の暮らしを守り支える、より信頼される市政、市民の負担を減らし、人口を増やすまち、また、すべての世代の方がより幸せに暮らせるまちの実現を目指した、前進予算案としてまとめた」とのことであるが、このことについて、以下3点伺う。
 - (1) 「変えるべき所」とは、とりわけ何を指すのか伺う。
 - (2) 市民のどのような負担をどのように減らすのか伺う。
 - (3) 令和8年度予算案を「前進予算案」としたとのことであるが、どのような意図をもって「前進」と掲げたのか伺う。
- 2 新年度予算案における重点政策について、以下2点伺う。
 - (1) 産業・経済・観光振興施策について、市長の選挙公約においては、「按針祭花火の企業協賛負担を軽減」とある一方で、第80回按針祭では、打ち上げ発数を増やして海の花火大会を開催するとのことであるが、企業協賛について、どのように変えていくのか伺う。
 - (2) 市民の皆様と市長とが直接対話する場として、新たな懇談会を開催するとのことであるが、どのような取組を考えているのか伺う。
- 3 新年度予算案のうち、一般会計予算の財政総括について、以下6点伺う。
 - (1) 一般会計の予算規模326億円は、対前年度比で7億5,000万円、率にして2.4%増の、市制施行以来、最大規模となるものであり、就任1年目にして大きな一歩を踏み出したと感じるが、このような予算規模となったことについて、どのように評価しているのか伺う。

- (2) 歳入について、市税全体では、対前年度比2.9%の増を見込んでいるが、個人・法人市民税、固定資産税、市たばこ税、入湯税等について、市内の経済状況をどのように把握し、積算したのか伺う。
- (3) 歳出について、予算性質別比較において、物件費における委託料が対前年度比10.4%、4億1,014万3,000円の減、備品購入費が対前年度比70.1%、2億3,870万1,000円の減となっているが、その理由について伺う。
- (4) 入湯税充当事業において、観光商工費の宣伝費に入湯税の42.4%となる2億5,592万8,000円が充当されているが、充当額と割合の妥当性について伺う。
- (5) 都市計画税充当事業において、公共下水道費の下水道事業会計繰出金に都市計画税の70.5%となる7億6,636万3,000円が充当されているが、充当額と割合の妥当性について伺う。
- (6) 投資的経費である普通建設事業費27億4,527万2,000円は、対前年度比25.1%、5億5,132万7,000円の増であるが、そのうち、補助事業費は、対前年度比50.2%、3億6,362万8,000円の減、単独事業費は、対前年度比72.4%、9億4,066万3,000円の増となっているが、それぞれの理由について伺う。
- 4 「安全で安心して暮らせるまち」に係る事業における消防体制の強化について、消防団の組織改編に取り組むことで、消防団員の活動環境の整備を進めるとのことであるが、どのように組織改編をしていくのか、市長の考えを伺う。
- 5 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」に係る事業について、以下6点伺う。
- (1) 脱炭素社会の実現に向け、市有施設へのクリーン電力の導入に努めるとのことであるが、導入を検討する施設及び電力の種類について伺う。

- (2) 下水道事業の健全経営を目指すため、下水道計画区域の見直しを進めるとのことであるが、その概要を伺う。
- (3) 下水道事業会計の業務の予定量において、接続戸数は昨年度よりも0.8%増えるの見込む一方で、年間総処理水量及び1日平均処理水量はともに5.5%減ると見込んでいるが、その理由を伺う。
- (4) 下水道事業安定のための補助として、一般会計から昨年度とほぼ同額の5億9,742万2,000円を繰り入れているが、健全経営に向けた取組を伺う。
- (5) 水道事業会計の業務の予定量において、給水戸数が昨年度よりも0.9%減る中、営業収益は微増と見込む一方で、営業費用は3.9%増えるの見込んでいるが、その理由を伺うとともに、経営の健全性についてどのように見据えているのか伺う。
- (6) 伊東駅周辺地区整備事業において、伊東駅前広場整備を引き続き進めていくとのことであるが、前市長による新図書館建設計画の中止により国庫補助が白紙となっている現状において、同事業の財源とスケジュールに見直しの必要性が生じていないか伺う。
- 6 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」に係る事業について、以下3点伺う。
- (1) 教育環境の整備について、令和7年2月20日付の教育問題懇話会の答申において、今後の学校統廃合の方針が示された中で、令和8年度末をもって閉校となる北中学校については、地域協議会の立ち上げにより学習環境の整備を進めていくとのことであるが、宇佐美地区及び対島地区については、事実上協議が中断している状況にあることから、教育問題懇話会の答申に対する考え及び今後の方針について伺う。

(2) 小・中学校の給食について、オーガニック給食の実現に向けた検討を進めるとのことであるが、どのような取組になるのか伺う。

(3) 中学校における部活動の地域展開について、関係機関及び地域と連携を図るとのことであるが、どのような取組になるのか伺う。

7 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」に係る事業について、以下4点伺う。

(1) 小室山公園及び一碧湖の再整備基本構想策定について、市長の考えを伺う。

(2) 健康保養地づくり事業の推進について、伊豆高原観光オフィスの組織力の向上や活動強化を掲げているが、現状、どのような課題があると認識しているのか伺うとともに、具体的な取組について伺う。

(3) 水産業の振興について、伊東港・伊東港海岸基本構想における伊東魚市場の再整備に向け、どのように進めていくのか市長の考えを伺うとともに、水産物の需要拡大を図るための施設の整備等について、どのような施設を検討していくのか伺う。

(4) 国際交流の推進・都市交流の促進について、外国人市民の日常生活の支援に努めるとのことであるが、市内事業所における外国人就労者数が増えている状況をどのように捉えているのか、市長の考えを伺う。

8 「総合計画を推進するための土台づくり」に係る事業について、以下4点伺う。

(1) より公正な人事評価制度の構築に向けた制度見直しを実施するとのことであるが、その概要について伺う。

(2) デジタル化の推進について、伊東市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画は、令和7年度に終期を迎えるが、市民の利便性向上を図るための行政サービスのデジタル化に向け、どのように推進していくのか伺う。

- (3) 未利用財産の利活用について、新たな用途での利用、売却や貸付けの推進も含め、長期的な視点に基づき取組を推進するとのことであるが、市長が掲げるスローガンである「すぐやる！！」を体現するための急進的推進策があるのか伺う。
- (4) 地域振興事業補助金の創設により、どのような地域活動の活性化に貢献していくのか伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

政和会 犬 飼 このり

令和8年度予算案及び施政方針について、以下5点伺う。

- 1 施政方針において「市民の負担を減らし、人口を増やすまち、また、すべての世代の方が幸せに暮らせるまちの実現を目指した、前進予算案」とされており、特に、重点施策とする子ども・子育て施策においては、きめ細かな支援策が多く盛り込まれているが、本市の年齢構成や自治体規模を踏まえ、子ども・子育て施策で成果を上げている他自治体の事例もある中で、これらの施策を人口減少対策としてどのように位置づけていくか、市長の考えを伺う。

- 2 以下の事業等について、事業概要及び今後の整備方針を伺う。

- (1) 丸塚公園遊具整備工事及びしおさい広場遊具整備工事

- (2) 小室山公園再整備基本構想策定事業

- 3 さくらの里ドッグラン整備事業について、事業概要及び今後見込まれる効果を伺う。

4 文化財管理センター管理運営事業について、駐車場整備の概要と施設の維持管理の考え方を伺う。

5 文化ホール建設調査事業について、以下3点伺う。

(1) 事業内容及びスケジュールについて

(2) 観光会館の建物の現状及び今後の整備方針について

(3) 文化施設整備基金の活用範囲について

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

自由民主 伊東 井 戸 清 司

- 1 令和8年度一般会計予算案について、以下3点伺う。
 - (1) 予算規模は、過去最大の326億円となっており、対前年度比7億5,000万円、率にして2.4%の増としたことについて、前進予算案として取りまとめたことは理解できるところではあるが、継続事業を除けば、新規の政策に対する国県の補助金等は計上されておらずゼロスタートとなっていることから、予算規模を326億円としたことについて、どのような歳入歳出のバランスを根拠に編成したのか伺う。
 - (2) 基金繰入金について、財政調整基金からの繰入金は9億7,000万円で、対前年度比1億2,000万円の増となっており、ふるさと伊東応援基金、競輪事業収益金活用基金、福祉基金等の各基金からの繰入金を含めた合計は、3億608万6,000円と11.8%の増となっているが、基金繰入れの考え方について伺うとともに、各基金に関連する計画や推進する様々な事業に対し、どのような影響があるのか伺う。
 - (3) 義務的経費が3.3%の増、投資的経費が25.1%の増となる中、歳入における地方債は対前年度比3億2,560万円の増となっており、普通債の年度末現在高見込額についても、対前年度比6億2,703万1,000円の増となっている一方で、歳出における公債費は年々減少している状況にあるが、社会情勢に鑑みると今後の金利上昇は避けられないと思料する中で、大幅な地方債の増額は後年度負担への影響が大きくなる懸念があると考えことから、市長の見解を伺う。

2 下水道事業会計予算案及び水道事業会計予算案に関し、施政方針において、「安全で安心して暮らせるまち」に係る事業として掲げた、管路の耐震化や老朽化した上下水道施設の計画的な更新の実施について、以下2点伺う。

(1) 下水道事業会計に対する一般会計からの繰入金は10億円を超えており、他会計からの繰入れがなければ、事業運営に必要な収入を確保するのは困難であると考えているが、どのような計画をもって施設等の維持、更新をしていくのか伺う。

(2) 水道事業会計において、一般家庭の給水戸数及び水道料金収入は年々減少傾向にある中で、施設等の維持を図るための財源をどのように確保していくのか伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

公明党 長 沢 正

- 1 市長説明並びに施政方針に関し、以下6点伺う。
 - (1) 「安全で安心して暮らせるまち」に係る事業について、以下2点伺う。
 - ア 危機管理体制の充実についてどのような取組をしていくのか、また、市民の防災意識の向上はどのように図っていくのか伺う。
 - イ 総合治水体制の強化について、どのような取組をしていくのか伺う。
 - (2) 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」に係る事業について、以下2点伺う。
 - ア 空家等の対策に向けた取組について伺う。
 - イ 公共交通体系の充実に向けた取組について伺う。
 - (3) 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」に係る事業について、以下4点伺う。
 - ア 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送れるように、老朽化した学校施設の修繕や改修にどのように取り組むか伺う。
 - イ 給食費の無償化を継続する小・中学校の給食の取組について伺う。
 - ウ 図書館協議会の役割及び設置スケジュールについて伺う。
 - エ 文化振興の拠点となる文化ホールの整備に向けた取組について伺う。

- (4) 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」に係る事業について、以下2点伺う。
- ア 商工業の振興について、伊東市中小企業及び小規模企業振興基本条例の基本理念に基づいた取組を伺う。
 - イ 南部地区の狭隘で老朽化した私道路等の整備計画の内容について伺う。
- (5) 「総合計画を推進するための土台づくり」に係る未利用財産の利活用について、新たな用途での利用、売却や貸付けの推進も含め、長期的な視点に基づき取組を推進しているが、どのように推進するのか考えを伺う。
- (6) 市民と市長が直接対話する場として、新たな懇談会を開催しているが、どのような実施方法を考えているのか伺う。
- 2 令和8年度の予算案には、市長が目指す市政運営がどの程度反映できたと考えているか伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

片 桐 基 至

- 1 観光振興や観光PRの各施策について、前年度の実績を踏まえ、どのような方針や戦略に基づき予算を編成したか伺う。

- 2 観光PRの考え方について、前年度から継続する方針、また、転換させる方針を伺う。

- 3 持続可能な観光地域づくりを目指し、情報発信の強化や旅行形態・観光客のニーズを把握するために、どのような事業を展開するのか伺う。

- 4 本市の観光地としての魅力を宣伝する主体は市であるべきと考えるが、「活力にあふれ交流でにぎわうまち」とするために様々な施策を掲げていることから、令和8年度予算案において、観光PRを展開する上で、どのような方針で予算措置を行ったか伺う。

- 5 観光PRを行うためには、本市の魅力や価値の明確化など、ブランディングの推進に取り組む必要があることから、どのように考え、予算に反映させたか伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

重 岡 秀 子

令和 8 年度予算案及び施政方針に関し、以下 2 点伺う。

1 「市民の負担を減らし、人口を増やすまち」を目指すとのことであるが、人口増には産業振興も重要な要素と考えることから、産業振興について特に重点を置く施策や構想について伺う。

2 降雪に伴う交通網の麻痺や市内広域に及ぶ断水の発生について、「課題として浮かび上がったことから多くを学び、解決に向けて、今できることから着実に実施して」いくとのことであるが、緊急時における防災情報の広報についても重要であると考えことから、以下 2 点伺う。

(1) コミュニティエフエム放送局設備維持管理委託料の増額理由並びに新規事業として取り組むコミュニティエフエム受信状況調査業務委託料及びコミュニティエフエムアンテナ設置補助金の事業目的を伺う。

(2) 災害時において、どのような情報伝達手段を活用しているのか伺うとともに、どのようにその周知を行っているのか伺う。